RESPECT

高槻市立城南中学校 生徒指導だより第12号 令和2年9月4日(金)発行

大阪880万人訓練について

自然災害は忘れたところに同じところ、または、その近くで発生するといわれています。つまり、「時」だけではなく「場」も繰り返されるのです。

高槻市では、大正6年(1917)年に台風により淀川が決壊した「大塚切れ」をはじめ、河川による水害に度々悩まされてきました。

下の表は、これまで大阪府等に被害をもたらした地震や風水害の歴史です。

大阪府(高槻市)等に被害をもたらした地震の歴史

年月	地域	大阪府の被害状況(単位:人)	
明治24(1891)年 10月	濃尾	M8.0	死者24 負傷者94
昭和2(1927)年 3月	北丹後	M7.3	死者21 負傷者126
昭和19(1944)年 12月	東南海	M7.9	死者14 負傷者135
昭和21(1946)年 12月	南海	M8.0	死者32 負傷者46

平成7(1995)年 1月	兵庫県 南部	M7.3	死者9 負傷者1929
平成30(2018)年 6月	大阪府 北部	M6.1	死者6 負傷者369

大阪府(高槻市)等に被害をもたらした風水害の歴史

年月	災害名	大阪被害状況(単位:人・棟)
昭和36(1961)年 9月	第2室 戸台風	死者32 家屋被害124603
昭和42(1967)年 9月	7月 豪雨	死者5 家屋被害136722
昭和47(1972)年 9月	台風 20号	死者3 家屋被害69437
昭和57(1982)年 8月	台風 10号	死者8 家屋被害74140
平成9(1997)年 9月	9月 豪雨	死者1 家屋被害3460
平成30(2018)年 8月	台風 21号	死者8 家屋被害2021

今後、30年以内に、最大震度6弱のおそれがある南海トラフ地震が、約80%の確率で発生するといわれています。また、有馬高槻断層帯が動いた場合には、最大震度7という大きな地震の発生が予想されています。